

渋谷駅周辺地域(139ha)全体の方向性

【都市再生緊急整備地域 地域整備方針】

＜公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項＞

- 駅付近の自動車交通の錯綜を改善し安全な歩行者空間を確保するため、ハチ公広場を含めた東西駅前広場を再編・拡充するとともに、駐車・駐輪施設や周辺の街路を整備

【渋谷地区駐車場整備計画(案) 平 18.3 渋谷区】

＜渋谷地区全体(92ha)＞

- 将来的には供給量が需要量を大きく上回ることから地域特性に応じた駐車施設の附置義務について今後検討

＜駅周辺で想定される大規模開発＞

- 駅周辺での交通混雑を低減するために、各駐車場にアクセスする方面を基本的に限定。適切な駐車場ネットワークの形成・運用

現状と課題の分析

＜現状の課題＞

■ 道路負荷・交差点飽和度

- 駅周辺の道路や駅前広場は交差点負荷が高く、混雑している

■ 駐車場や駐車場出入口の分布状況

- 小規模建物がそれぞれに駐車場を確保するため、駐車場出入口が多数発生し、歩行者の回遊性、にぎわいや街並みを分断している

■ 周辺幹線道路からのアクセスの状況

- 幹線道路が駅中心地区を通過しているため、駅中心地区における各街区へのアクセスが難しい

■ 荷捌きの現状

- 路上での荷捌きが常態化しているなど、荷捌きスペースそのものが不足している

■ 自動二輪車等の駐車問題

- 駅周辺は生活スタイルの多様化や道路混雑等の影響により自動二輪車での来訪者が非常に多く、一方自動二輪車対応の駐車不足により、違法駐車が発生している

＜将来に想定される課題等＞

■ まちの段階的整備への対応

- 大規模開発における駐車場等の整備
- 駅中心地区において整備時期が異なる駐車場や接続車路を適切に確保し、ネットワークを形成する必要がある

駅周辺地区の役割と貢献

＜渋谷駅周辺地域全体での駐車場・物流機能の考え方＞

地域全体でのバランスのとれた駐車場計画等により、歩行者と車が共存する魅力あるまちを形成

＜駅中心地区が果たす役割＞

(1) 慢性的な交通渋滞を低減し、かつ快適な歩行環境を確保する、使い勝手のよい駐車場・物流機能を整備

(2) 整備段階に応じた適切な駐車場ネットワークの形成・運用

戦略を実現する取り組み方策

方策1

駐車場の集約化・ネットワーク化、および効率的な運用

- ① 駐車場(運営システム)の集約化や、隔地駐車場による駐車場の整備
- ② 駐車場案内のための情報提供方法の充実
- ③ 駐車場相互のネットワーク化(整備段階に応じた適切なネットワーク形成への対応)
- ④ 自動二輪駐車場の対応

方策2

荷捌きシステムの適切な確保、および効率的な運用

- ① 荷捌き施設の適切な確保(集約化、ネットワーク化)
- ② 共同配送などの効率的な荷捌き活動の推進

